

先見 明言

佐野テック社長

佐野 明郎氏

(さの・あきお)

橋りよりの部品製造などを手掛ける、佐野テック（本社三重県菟野町、佐野明郎社長、電話059・3391・0200）は、働きやすい職場づくりを推進している。長時間労働の是正や有給休暇の取得率向上などを進める佐野社長に、取り組みの詳細を聞いた。

（聞き手・山田駿太）

「残業の抑制を推進している。」

「もともと、繁忙期の10〜3月は残業が多かった。昨年11月に『退社目標時間』を午後7時半と定め、長時間労働の是正にかじを切った。帰社時間を早めるには、

まず社員自身が仕事の段取りを見直し、効率のよい働き方に変える必要がある。社員の努力だけでは改善が難しい場合は、上司との面談を行い、対策を検討する。急ぎの仕事でなければ翌日

働きやすい職場づくり推進

に回したり、手が空いている他の社員に業務を分配するなどの方法がある」

「地道な取り組みが奏功し、残業は劇的に減った。現在は午後6時までの帰社

を目標に掲げている。残業代の削減分は、社員の待遇改善に振り向ける」

「有給休暇取得率の向上にも取り組んでいる。『誰もが休みを取りやす

い雰囲気づくりを意識している。社員が有給休暇を申請した際、上司が申請理由を聞くことを禁じている」

「また、社員の多能工化を進め、一人が休みを取っ



「有給休暇を取得しやすい雰囲気づくりを意識している」と語る佐野社長

「退社目標時間」設定で残業抑制 健康増進にも配慮

「でも、出勤している他の社員でカバーできる体制を整えている。現在、全従業員70人がそろえば、2カ月に1日ほどだ」

「全国健康保険協会の『健康事業所宣言』事業に参加するなど、社員の健康増進も図っている。」

「毎週水曜日の終業後には本社会議室を活用し、バレエ、ヨガ、フィットネスを組み合わせた運動『バレトン』教室を開催している。社員からは『心身ともにリフレッシュできる』と好評だ」

「また、社員一人一人が、名札に健康に関する数値目標を記載する活動も行っている。顧客を訪問した際の話題づくりにも一役買っている」